

6 各科目シラバス

科目選択コード	605110102	科目名	物理基礎	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	物理基礎(数研出版)			
	副教材	アクセスノート物理基礎(実教出版)			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	<p>①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の中から2年次までに3科目以上を必ず履修してください。</p> <p>②3年次で「物理」を選択する生徒。</p> <p>③理系大学(理学部・工学部等)進学希望者で、入試で物理が必要な生徒。</p> <p>④医療系進学希望者で、将来放射線技師等に就職する場合は履修することが望ましいです。</p> <p>⑤理工系進学希望者で、将来コンピューター技師・土木系技師等に就職する場合は履修することが望ましいです。</p> <p>【補足】 理学部物理学科、工学部応用物理学科、工学部建築学科等、物理が入試科目にある場合は必ず選択してください。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心となる。</p> <p>②「物体の運動とエネルギー」では、まず速度、加速度(速度の変化)、仕事、エネルギー(仕事をする能力)について学習する。</p> <p>③「さまざまな物理現象とエネルギー」では熱エネルギーや振動と波、電気、磁気について学習する。</p> <p>④データをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。</p>				
学習方法	<p>①自然現象に興味を持ち、いつも「なぜだろう?」と疑問を持つこと。</p> <p>②量的な取り扱いが必要になるので計算力を身につけ、効率よく計算することができるようになること。</p> <p>③基礎的な数学の知識が必要になるので、数学の授業に熱心に取り組むこと。</p> <p>④3年間の学習計画の中に「物理基礎」をしっかりと位置づけ、十分な学習時間を確保することによって計画的な学習を行うこと。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然現象には原理や法則があることを理解し、定量的に考察するために、概念を定義し利用したり、実験したりすることができる。			
	思考・判断・表現	さまざまな物理現象を論理的に分析・解決でき、さまざまなデータや実験結果に基づいて論理的に分析し、科学的に自分の言葉で表現ができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然現象に関心をもち、科学的な視点で授業に意欲的に参加し、見通しをもったり振り返ったりするなど論理的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、実験・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、実験・観察、授業中の活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、実験・観察、授業中の活動・態度、定期考査			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605120103	科目名	物理	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	物理(数研出版)			
	副教材	セミナー物理基礎+物理 2025(第一学習社)			
到達目標	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、見通しをもって観察、実験などを行い、物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	<p>①物理基礎を履修済みの生徒。</p> <p>②理系大学で理科で物理を選択する生徒。特に工学部では物理必修の学科が多いです。</p> <p>【補足】 医療系は基礎までであれば、選択する必要はありません。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習よりも復習中心になり、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。</p> <p>②「波」、「電気と磁気」では、観察や実験などを通して探求し、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できるように学習していきます。</p> <p>③「さまざまな運動」では運動やエネルギーについて基礎的な考え方にに基づき、力と運動に関する概念や原理・法則を理解し、それらを活用できるようにしていきます。</p>				
学習方法	<p>①計算力が必要になるので、数学に熱心に取り組んでください。また、できるだけ数多くの演習問題に取り組んでください。</p> <p>②大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、物理基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p> <p>③物理の選択者は、最終的に物理を受験科目とする場合が多いので、3年間の学習計画を意識し十分な学習時間を確保してください。</p>				
評価の観点	知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど科学的に探究する方法を用いて考え、表現しようとしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとしたり、科学的に探究しようとしたりしている。			
評価方法	知識・技能	課題、実験・観察、ノート、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、実験・観察、授業中の活動、ノート、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、実験・観察、ノート、授業中の活動・態度、定期考査			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605130101(1年) 605130102(2年)	科目名	化学基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高等学校 改訂 化学基礎(第一学習社)			
	副教材	改訂 標準セミナー化学基礎(第一学習社)			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	<p>①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2年次までに3科目以上が必履修となります。</p> <p>②「化学」「物質と科学」を選択するには、化学基礎を履修しておかなければなりません。</p> <p>③医療系、管理栄養士・栄養士、調理師、美容・理容師などの進路希望の生徒。</p> <p>④危険物取扱者試験を受験する生徒。</p> <p>⑤食品化学を選択する生徒。</p> <p>【補足】 理系大学進学で、「化学」を受験科目とする場合、1年次で「化学基礎」、2年次で「化学」、3年次で「物質と科学」を選択することが望ましいです。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。</p> <p>②「物質の成り立ち」では原子、分子、イオンなどの粒子の構造について学習します。</p> <p>③「物質の変化」では物質と化学反応式、中和反応、酸化還元反応(電池や電気分解を含む)を学習します。</p>				
学習方法	<p>①物質を構成している粒子の種類と、その結合をまず学習します。ここでは、物質を粒子の集合体と考え、粒子観を身につけます。</p> <p>②化学反応によって何ができるかだけでなく、どのくらいの量の物質が生成したり消費されたりするのかを計算で求めます。日頃から計算機を使わずに計算するようにしましょう。</p> <p>③物質の変化については、酸・塩基の反応と酸化還元反応について学習します。身近な変化について関心を持ち、理論的に考えることが大切です。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート・観察・実験			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査・観察・実験			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物・観察・実験			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605140102(2年) 605140103(3年)	科目名	化学	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高等学校 化学(第一学習社)			
	副教材	新課程 化学基礎+化学 セミナー(第一学習社) フォトサイエンス化学図録(数研出版)			
到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
選択条件	<p>①化学基礎を履修済みの生徒。 ②理系大学進学で理科で化学を選択する生徒。 ③国公立大学文系で大学入学共通テストの理科で化学を選択する生徒。 ④看護医療系で理科で化学を選択する生徒。 ⑤管理栄養士を目指している生徒。</p> <p>【補足】 ○国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択すること。 看護医療系は基礎まででよければ、選択しなくてもよい。 ○理系大学進学で、「化学」を受験科目とする場合、3年次で「物質と科学」を選択することが望ましい。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習よりも復習中心になり、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。 ②「物質の状態」「物質の変化と平衡」「無機化学」について学習します。 ③化学的内容をいくつか関連付けて問題を解いていきます。</p>				
学習方法	<p>①教科書の内容は化学基礎よりも高度で、計算が多いので、授業で学習した範囲の問題を自分で積極的に解き、分からない問題を質問して実力をつけましょう。 ②覚えた事項をどう使うかの学習なので、暗記すべき事項は確実に覚えましょう。 ③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、化学基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート・観察・実験			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査・観察・実験			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物・観察・実験			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605150101(1年) 605150102(2年)	科目名	生物基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	改訂版 新編 生物基礎(数研出版)			
	副教材	改訂版 生物基礎学習ノート(数研出版)			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2年次までに3科目以上が必履修です。 ②「生物」を選択するには、生物基礎を履修しておかなければなりません。 ③大学入試に対応できます。特に、医療・看護系、生物・農学分野への進学を希望する生徒は必ず履修してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。 ②「生物の特徴」、「遺伝子とそのはたらき」、「生物の体内環境の維持」、「生物の生態系と多様性」など生物の基礎を学びます。				
学習方法	①生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ②細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解する。 ③生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識する。 ④生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605160102(2年) 605160103(3年)	科目名	生物	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択
使用教材	教科書	生物(数研出版)			
	副教材	生物学習ノート(数研出版)			
到達目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
選択条件	<p>①「生物」を選択するには、生物基礎を履修しておかなければなりません。</p> <p>②大学入試に対応できます。特に、医療・看護系、生物・農学分野への進学を希望する生徒は必ず履修してください。</p> <p>【補足】</p> <p>○国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択してください。</p> <p>看護医療系は基礎まででよければ、選択する必要はありません。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。</p> <p>②「生物の進化」、「生命現象と物質」、「遺伝情報の発現と発生」、「生物の環境応答」、「生態と環境」について学びます。</p>				
学習方法	<p>①生物基礎よりも高度で、深い学びが必要なので授業当日に復習を心掛けてください。</p> <p>②暗記すべき事項は確実に覚えましょう。</p> <p>③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、生物基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605170101(1年) 605170102(2年)	科目名	地学基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	改訂版 高等学校 地学基礎(数研出版)			
	副教材	改訂版 リードLightノート 地学基礎(数研出版)			
到達目標	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験を行い、科学的に探究しようとする態度と環境保全に寄与する態度を養う。				
選択条件	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の中から2年次までに3科目以上を必ず履修してください。 ②火山・地震・気象・宇宙など地学的事象に興味・関心がある場合は履修してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心となる。 ②データをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。 ③講義と問題演習の内容は次のとおり。 ・地球の形と大きさ・地球を構成する物質 ・火山活動・地震活動・プレートテクトニクス ・大気の性質・海水の性質・地球のエネルギー収支 ・大気中の水蒸気と天気の変化・気象現象 ・太陽系の構成・太陽系の誕生と進化・恒星の特徴・宇宙と銀河				
学習方法	①教科書を読み、用語の意味を理解する。 ②よくわからない部分があれば授業で質問する。 ③授業の内容を確認し、重要事項を覚える。 ④その日の授業内容に対応する問題を解く。 ⑤科学に関するニュースについて調べる。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録等の技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、ノート、実験・観察、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、ノート、グループ活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、ノート、グループ活動、授業時の態度、実験・観察、定期考査			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605190103	科目名	自然と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	物理(数研出版)			
	副教材	セミナー物理基礎+物理 2025(第一学習社)			
到達目標	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、見通しをもって観察、実験などを行い、物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	<p>①2年次までに物理基礎を履修済みの生徒。</p> <p>②理系大学で理科で物理を選択す生徒。特に工学部では物理必修の学科が多いです。</p> <p>【補足】 必ず『物理』4単位と『自然と科学』2単位を合わせて履修してください。 課外の受講も望ましいです。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習・復習を行い、練習問題を板書し、発表します。さらに、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。</p> <p>②「力学」、「熱」、「波動」、「電磁気」、「原子」の5つの分野を取り扱い、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できるよう学習していきます。具体的には、物理基礎・物理の内容を含む総合演習を行います。</p> <p>③大学入学共通テストや4年制理系大学進学等を意識して、難問に取り組み、入試に対応できる実力の養成を図ります。</p>				
学習方法	<p>①基礎的な数学の内容も使用するので、数学に対しても熱心に取り組んでください。</p> <p>②物理は、数多くの演習問題に取り組むことで、実力が養成されます。手を動かし、自分自身で考えながら問題に取り組んでください。</p> <p>③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、物理基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p> <p>④分からない場合は、その日のうちに授業担当者に質問に行きましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど科学的に探究する方法を用いて考え、表現しようとしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとしたり、科学的に探究しようとしたりしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、ノート、実験・観察、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、ノート、グループ活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、ノート、グループ活動、授業時の態度、実験・観察、定期考査			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605200103	科目名	物質と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	第一学習社 高等学校 化学			
	副教材	新課程版 大学入学共通テスト攻略問題集 ビーライン化学(第一学習社)			
到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
選択条件	<p>①「化学基礎」「化学」を履修している生徒。(3年次で「化学」を履修していても可)</p> <p>②大学等への進学を希望する生徒で、入試で「化学基礎」、「化学」が必要な者は、3年次で必ず選択して履修してください。</p> <p>【補足】 国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択すること。看護医療系は基礎まででよければ、選択しなくてもよい。</p>				
授業内容	<p>①化学基礎・化学の内容をより発展的に学習します。講義と問題演習が中心になります。</p> <p>②前半は、「有機化合物」「高分子化合物」について学習します。</p> <p>③後半では、入試対策として演習問題を解いていきます。</p>				
学習方法	<p>①問題集の内容は高度で、計算が多いので、授業で学習した範囲の問題を自分で積極的に解き、分からない問題を質問して実力をつけましょう。</p> <p>②覚えた事項をどう使うかの学習なので、暗記すべき事項は確実に覚えましょう。</p> <p>③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、化学基礎・化学の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録等の技能を身に付けているか。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求しているか。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト、提出物、ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、提出物			

6 各科目シラバス

科目選択コード	605210103	科目名	生命と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	生物(数研出版)			
	副教材				
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察, 実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	<p>①「生物基礎」、「生物」を履修している生徒。(3年次で「生物」を履修している生徒も可)</p> <p>②大学等への進学希望者で、入試で「生物基礎」、「生物」が必要な生徒は、3年次で必ず選択して履修してください。</p> <p>【補足】</p> <p>「生物」が入試科目にある場合は、3年次で必ず選択して履修してください。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。</p> <p>②後半は、入試対策が中心です。</p>				
学習方法	<p>①生物基礎よりも高度で、深い学びが必要なので授業当日に復習を心掛けてください。</p> <p>②暗記すべき事項は確実に覚えましょう。</p> <p>③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、生物基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			